



発行所
 社団法人
 神奈川県造園業協会
 横浜市中区常盤町2-10
 伸光ビル2階〒231-0014
 電話 (045) 662-8793
 662-1767
 FAX (045) 662-4381
 年間購読料 3,150円
 (郵送料を含む)
 ただし会員の購読料は会費に含まれています。



<http://www.kanagawazoen.or.jp>

2010年10月 「技能ルネッサンス! かながわ2010」 が開催されます

第四十八回技能五輪全国大会・第三十二回全国障害者技能競技大会推進協議会
 平成二十二年十月、神奈川県で初めて開催される「技能ルネッサンス! かながわ2010」(第四十八回技能五輪全国大会・第三十二回全

「造園」職種競技会場は、パシフィコ横浜隣接する二十街区を予定
 技能五輪全国大会は十月二十二日から二十五日までパシフィコ横浜、県立産業技術短期大学校、県立東部総合職業技術校、川崎市とどろきアリーナなどで開催され、全国障害者技能競技大会は十月十五日から十七日まで横浜アリーナなどで開催されます。「造園」職種の競技会場は、パシフィコ横浜に隣接する二十街区を予定しています。横浜駅やみなとみらい駅から近く、多くの見学者が見込まれます。

ちなみに、昨年のいばらき大会には、史上最高の七十六名の神奈川県代表選手団(技能五輪全国大会は二十二種六十一名、全国障害者技能競技大会は十五種目十六名)を結成することが出来ました。さらに、技能五輪全国大会では、おかげさまで優秀技能選手団賞を受賞しました。

「造園」職種では、小松彩選手(安藤植木株式会社)が初出場で見ごと銀賞を受賞しました。今回のかながわ大会は、来年(二〇一一年十月)にイギリスのロンドンで開催される技能五輪国際大会の予選会を兼ねており、造園職種は二人ペアの競技となっています。

技能ルネッサンス! かながわ2010 神奈川で競え この技 この技術

第32回 全国障害者技能競技大会
 平成22年10月15日(金)～17日(日) 開催

第48回 技能五輪全国大会
 平成22年10月22日(金)～25日(月) 開催



を立ち上げ、県内関係団体、機関と連携しながら準備を着実に進めているところです。

全職種・種目に神奈川県代表選手については、両大会の全職種・種目(技能五輪全国大会は約四十職種、全国障害者技能競技大会は約二十種目)に参加させたいと取り組んでいるところです。



初出場で見ごと銀賞受賞の小松 彩さん

「造園」職種では、小松彩選手(安藤植木株式会社)が初出場で見ごと銀賞を受賞しました。

そのために、選手の大大会参加促進と同時に、選手が本番で力が発揮出来るよう

では、東京農業大学と連携をしながら庭園部会・教育研修委員会の方々の協力を得て支援を行なっております。

両大会を成功させるため関係団体の皆様のさらなるご協力をよろしくお願い申し上げます。

協賛課題が示されるまでは、とりあえず基礎的な練習を行なっております。会員の皆様の暖かいごア



五輪出場候補者延段練習

神奈川大会なので県と

神奈川大会なので県と

総会のお知らせ
 平成22年5月21日(金)
 11時00分
 神奈川造園業
 協同組合総会
 13時00分
 (社)日本造園建設業協会
 神奈川県支部総会
 15時00分
 (社)神奈川造園業協会
 総会

「かながわのみどりを
 創り、育てる」集い
 会場：ホテル横浜ガーデン
 (横浜スタジアム前)
 横浜市中区山下町二五四
 ☎〇四五―六四二―三三二
 関内駅(JR、地下鉄)
 徒歩五分

事務局情報

(月間行事一覧)
● 諸会議その他 ●

2月

- 4日(木) 「ものづくり立国・日本」次世代フェスタ出場打合せ
- 6日(土) 造園技能士コース講習会第14回
- 7日(日) 旧川合玉堂別邸建仁寺垣製作講習会(旧川合玉堂別邸二松庵)
- 13日(土) 造園技能士コース講習会第15回
- 18日(木) 県域青年部会と(株)北海道造園緑化建設業協会との交流視察会
- 19日(金) 公園緑地部会
- 20日(土) 造園技能士コース修了試験
- 26日(金) 庭守打合せ
- 27日(土) 岸本会長の叙勲を祝う会(新横浜プリンスホテル)

3月

- 2日(火) 情報委員会
- 3日(水) 高所作業車運転技能講習会(～4日) 庭園部会 造園技能検定指導員・検定員合同会議
- 4日(木) 公園緑地部会経営研修委員会
- 5日(金) 教育研修委員会
- 6日(土) 造園技能士コース修了式
- 11日(木) 公園緑地部会総務委員会・技術研修委員会
- 12日(金) 多摩庭園めぐり研修会 ～香山園・武相荘・玉堂美術館～
- 18日(木) 公園緑地部会経営研修委員会
- 24日(水) 公園緑地部会
- 26日(金) 理事会
- 31日(水) 支部長会

● 会員名簿の変更 ●

(平成21年度名簿)

新入会員

- 戸塚支部 (株)GREEN PIC 横浜植物 代表者 神崎浩佐 〒245-0065 横浜市戸塚区東俣野町107-2 Tel 045-858-3580 Fax 045-858-3585

代表者変更

- 川崎南支部 植繁(会員名簿P.49) 代表者 中島繁雄 → 中島孝明
- 湘南中央支部 松南緑化産業(株)(会員名簿P.63) 代表者 本間信雄 → 本間正光 Tel 0466-87-5062 Fax 0466-87-5765

住所変更

- 神奈川支部 (有)高橋緑化建設(会員名簿P.34) 〒221-0865 横浜市神奈川区片倉2-3-3-101
- 横浜港南支部 (有)遠藤造園(会員名簿P.48) 〒233-0016 横浜市港南区下永谷5-6-18
- 湘南西支部 (株)日本ビオトップ(会員名簿P.59) 〒259-1217 平塚市長持399-1 Tel 0463-20-8658 Fax 0463-20-8627

社名・代表者変更

- 湘南中央支部(会員名簿P.63) 社名 (有)とりい農園 → とりい農園 代表者 鳥居正一 → 鳥居邦雄

講師の先生方から伝わってきた、造園という仕事へのプライドや情熱を受け止めて、今回の講習で得たものを決して知識だけで終わらせずに自分のものとしていこうと決意しました。各講師の先生方や事務局の皆様には、本当にお世話になりました。大変感謝しております。ありがとうございました。



学科講習では、建設業に合格し、安全衛生法による技能講習修了証が交付されました。今回お世話になりましたキヤピラー・教育所(株)模範教育センターの講師の方々にお礼申し上げます。参加者の皆さん安全作業で活躍下さい。

受講生の声

2級受講生 木村 稔
「正直言って造園というものを見くびっていました。この講習を受ける前ま

今回、その基礎、基本を何も知らないからこの講習を受けさせて頂いたので、その技術的なものももちろんですが、造園に対する姿勢、考え方という一番大事

が足りずに最終試験を受けられなくても、講習を受けること自体が自分にプラスになると思いい、講習に参加させて頂きました。噂に違わず授業は毎回、大変充実したものでした。特に私が講習に参加して良

かった、と感じたのはテキスタイルから脱線した余談でした。教科書では表現しきれない、その道のスペシャリストなら道の数多くの体験に基づいた現場での「コツ」や「勘どころ」を、真に迫った様子でお話する様子は圧巻でした。

講師の先生方から伝わってきた、造園という仕事へのプライドや情熱を受け止めて、今回の講習で得たものを決して知識だけで終わらせずに自分のものとしていこうと決意しました。各講師の先生方や事務局の皆様には、本当にお世話になりました。大変感謝しております。ありがとうございました。

高所作業車 運転技能講習会

公園緑地部会・教育研修委員会主催の高所作業車運転技能講習会がキヤピラー教育所(株)模範教育センターで三月三日・四日にわたり、四十八名の参加を得て行なわれました。

講習会初日開校式において松井神造協専務理事・直井相模教育センター長の挨拶の後、講習会が始まりました。

その内容は、高所作業車に関する基礎知識、所作装置の構造及び取り扱い、電気・力学等の知識、労働安全衛生法及び関連法令の講義が行なわれました。受講者は、熱心に聴き入り「安全」の重要性を再認識されました。

実技講習では、伸縮ブーム型トラック式高所作業車と屈折ブーム型クローラ式高所作業車、伸縮ブーム型ホイール式高所作業車が準備され、各高所作業車の特性・操作方法が重点的に講義されました。特に、安全装置・緊急時対応の操作も体験できたことは貴重な経験になりました。

学科・実技試験は、全員合格し、安全衛生法による技能講習修了証が交付されました。今回お世話になりましたキヤピラー・教育所(株)模範教育センターの講師の方々にお礼申し上げます。参加者の皆さん安全作業で活躍下さい。

造園技能士コースを終えて

平成二十一年度の「普通職業訓練技能士(1・2級)コースが修了しました。

昨年の十月からスタートして毎週土曜日十五日間の102時間をかけた講習会は、職業能力開発促進法に基づき、「より高度の技術を修得」し「その職業に必要な技能を補充」することを目的とされています。

では、「これが、今回の技能士コースを終わっての卒直な感想です。今の会社に土木関係から転職して3年、見様見まねで造園という仕事をやらせてもらっていますが、自身の中だけでは今まで造園は土木の一部、又は付随的なものという認識でしかありませんでした。

しかし、今回の講義において、それぞれその道で大成された講師の方々の話を聞くにつれ、造園の奥深さ、高度性、そしてその芸術性までもひしひしと感じる様になりました。

約4ヶ月に渡るこの講習を終わって今、毎回熱弁をふるって貴重なお話を頂いた講師陣の皆様にご心からお礼を申し上げたい気持ち一杯です。そして、この講習をうけさせてくれた会社にも感謝しております。



岸本和好会長叙勲を祝う会 開催される

平成二十一年秋の叙勲に際しまして岸本(社)神奈川県造園業協会会長が多年に亘りひたすら郷土愛護の精神に燃えて常に災害防除の先頭に立ち、率先垂範して人命の救助及び被害の軽減に寄与され、地域防災に尽力されたこと、また、神奈川県造園業協会の業務に精励され、業界及び協会の発展に多大な貢献をされた功績により瑞宝双光章の荣誉に浴されました。

平素より岸本会長のお人柄を慕いご交流が深い方々が一堂に会して氏の荣誉に敬意を表し、さらなる御活躍を祈念し叙勲を祝う会が平成二十二年二月二十七日新横浜プリンスホテルに於いて開催されました。

会是小野忠章横浜市長、消防団副団長の開会の辞に次いで、永井良和横浜市長、佐藤信男横浜市長、区自治連合会会長より心温かい来賓祝辞をいただきました。

次いで、消防にゆかりの深い纏と鳶口の記念品贈呈、後岸本会長より受賞者謝辞が述べられ、お孫さんより岸本ご夫妻に花束の贈呈が行なわれました。

祝宴は鈴木一松(社)神奈川県造園業協会相談役の挨拶に続き、鏡開きが行なわれ、安藤行雄横浜市長、消防署長の乾杯の発声の後、祝電披露、懇談となり、アトラクションとして藍川社中による舞踊と綾みどりの歌謡ショウ等が催され賑やかな祝宴となりました。

石川龍二(社)神奈川県造園業協会副会長の中締めにより、宴は盛会裡に終了となりました。ご列席の皆様有難うございました。

市鶴見消防団団長による発起人代表挨拶が行なわれた後、岸本会長の功績が披露され、引き続き公務多忙の中出席して頂いた、阿部隆横浜市長、安全管理局警防部長、嶋村尚美神奈川県消防協会会長、三好吉清神奈川県議会議連盟会長、伊東廣一横浜市消防団団長、植田孝一横浜市鶴見



私の修行時代

横須賀支部 高橋 勇



昭和五十年春、念願の京都。桜の頃である。当時、二十二歳の私の頭の中は不安と希望でいっぱいであった。それまで、京都での造園の修業が自分の人生を決めるぐらいの事だと思っていました。

昭和四十五年、農業高校を卒業した私は、秋田の農業試験場で花卉園芸の仕事をしており、将来温室を建て、シクラメンを主幹作物とした花卉園芸の事業をしようと思ひ、日々頑張っていました。

ある日いつもの様に温室で作業をしていると、当時の園芸課長が私の所へ来て、神奈川県でシクラメン栽培や育種をしている横山花園という所があるんだが、どうしても温室経営をしたくないなら先進県の方が勉強になるんじゃないかと言つて、進めてくれました。

善は急げと、それから数カ月後私は神奈川県茅ヶ崎市へと移転しました。

そうして園芸課長の紹介で横山花園の研修生として花卉園芸の仕事にさらに入事になりました。当時、横山先生の所には地元神奈川県や山梨県、秋田県からと七人の研修生がいました。

その頃の生活というのは、朝は日が昇る頃に起床、それぞれ花市場の出荷準備や水やり等をした後が朝食、それから本格的な仕事となります。何と言つても一番多いのが水やりの業務。温室の水やりは普通ベッド(鉢物を置く棚)の上の鉢物にやるのですが、中央部分と緑の部分では一日の乾き具合が違うという事、その日の植物の状態を絶えず肌で感じて、天窓の開閉をする事、絶えず神経を集中して作業をする様にとの事である。その後作業は続き昼食、夕方は日が暮れ指先が見えなくなるまで作業をして一日が終わる。

嬉しいのは夕食の時間であるが、食事が済んだら自分で洗つた食器類はもろもろ自分で洗つて所定の場所へ返す、そして部屋へ帰ると皆で一日の出来事を話すと専門書を見る人、ギター

を弾く人さまざまである。それでも一番の話題は植物の話である。殆どの人が高校や短大を卒業したばかりで、実家は農家であり自分が花が好きであるか、又は花の栽培に将来を感じて温室経営を始めようとしている希望に満ち溢れた若者である。

研修期間は長い人で二年位、短い人で一年。その後実家に帰り独立する事になる。一日一日は非常に貴重である。又、休日は一年間でお盆と正月だけであったが、誰も休日が欲しいという人はいかなかったと思ひます。横山先生は、君らは技術を盗みに来ているのだからいつもよく言つてました。今思うと全くその通りだと思ひます。そして私の研修生活も二年過ぎようとして、いよいよ独立いう時に実家の温室を建てる場所に問題が起き、温室建設を断念せざるを得なくなりました。(当時はオイルショックや列島改造の真只中である)温室が出来ないなら研

修生活の意味がなく、色々考えた末、同じ植物を扱うという事で造園の仕事が良いのではないかと思ひ藤沢の岸田園芸さんを知人に紹介してもらい、一年間植木や造園の事を勉強させてもらうようになりました。

そうしているうちに本格的に造園をするなら京都が理想ではないかと思つた。京都市に行く事を決意しました。そして、岸田さんへの挨拶もそこそこ京都へ行く事になりました。

昭和五十年春の頃です。この時の決意が今ある私の原点だったと思ひます。もちろん京都といつても右も左もわかりません。そこで知人に頼みこんで、京都では名門である植藤造園という所に世話になる事になりました。その頃の私の頭の中には植藤さんは当方で十七代目で、丸山公園のしだれ桜の保護と宮内庁の仕事をしている会社という認識しかありませんでした。入社して一番驚いたのは歓迎会

の席の事でした。今まで

私は人前で芸をした事はなく、まさか席上で新人が芸をしなければならぬ事など全く知りませんでした。順番が来て何を披露しようと考えた末、どんぱん節を唄い大汗をかいた思い出があります。又屋敷(畑という圃場)が三十町(三〇万坪)ありました。もちろん造園材料(燈籠、石材、植木)が所狭しと並んでいました。

入社初日先輩に教わったのは、出社前には必ず社長の家回りの掃除をしろということでした。そうして庭にある石燈籠や石造品の年代や種類を覚えるのである。最初は仕事といつても圃場の除草剤散布、植木の移植、堀上げ、根巻きといった植木屋さんの基礎を学ぶ事になる。この様な仕事の数ヶ月続き、楽しみと

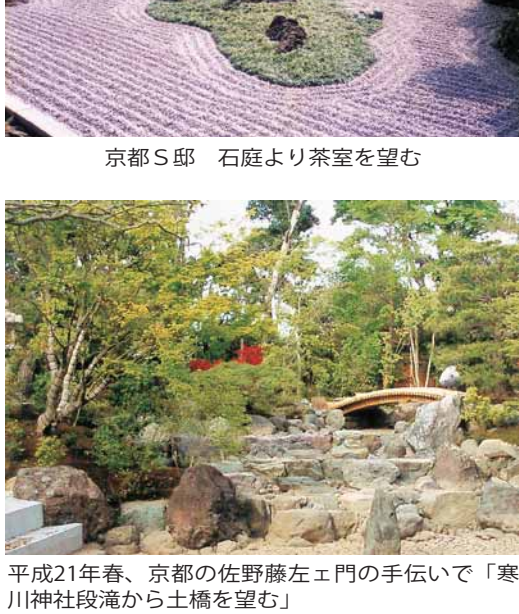
いしばし十時と三時のお茶の時である。植木を掘り上げるにしても神奈川とは違い土(石交じりの赤土)が悪いのでバチ、スキという道具で掘り上げる。そして根

を削る。木によつて根の大きさを決め荒縄で根巻をする。荒縄の長さも無駄がないようにである。根巻きした植木は、担棒で担いでトラックまで運ぶ事が多く、肩にはタコが出来る。二人で担ぐ場合、先輩は後棒、新米は前棒になる。少しでもふらふらすると、すぐさま叱咤激励が飛んで来るのである。この様な毎日を送っているとつい、いつ頃になったら現場(庭の仕事)に連れていって欲しいのかと不安になる。私の場合は現場に連れていって

もらったのは一年位たった頃でした。その予定を先輩から聞いた時は本当に嬉しくて眠れないほどでした。

初めての現場は神戸の芦屋でした。その日は鞍馬の飛石を打つたり延段を造るのが仕事でした。飛石のちりも平庭と茶庭では違うという事又飛石の大きさも形用途によつて全然違う事を教えられました。この様な日々が三年程続き、私もようやく現場のリーダーになり修学院離宮や個人邸の仕事が出来る様になりました。

そして時の過ぎるのは早いもので、京都を出て、もう三十年近くになります。私も五十代後半になり、今この様な仕事が出来るのは若い頃に色々指導して下さいました皆様のお陰だと思つています。



藤建装の伊藤氏とS.54年頃24才頃の写真です
京都S邸 石庭より茶室を望む
平成21年春、京都の佐野藤左エ門の手伝いで「寒川神社段滝から土橋を望む」

ありがとうございます。ありがとうございました。

「カンボジア・ベトナム五日間」の旅

保土ヶ谷支部 鳥海 務

気心のあった者同志で「祝山会」と銘打って昨年の「台湾・台中・台北」に引き続き、九月二十一日から二十五日までの五日間アンコールトム遺跡群等を巡る旅でした

行程は、一日目は、ベトナム航空にてホーチミンを経由してアンコール王朝への門前町シエムリアップに泊まり、二日目は①アンコールトム②アンコールワット③タ・プロームをまわる。

アンコールトムは、アンコール遺跡群の一つで、十二世紀後半ジャヤヴァルマン七世により建立され高さ約八メートルのラテライトの城壁に囲まれ、中央にバイヨン寺院がある。

アンコールワットは、十二世紀前半アンコール王朝のスールヴァルマン二世によってヒンドウ教寺院として建立、敷地は東西千五百、南北千三百、幅二百メートルの堀で囲まれ、天地創造神話「乳海攪拌」を画いた壁画やデバタ(女性像)の美しい壁画等見所も多く代々に受け継がれてきた当時の人類史上類まれな規模と芸術性に富んだ石造建造物で、人類の偉大さと神秘さに魅了される。

タ・プロームは十二世紀末に仏教寺院として建立さ

れ、遺跡は樹木に覆われた発見当時の様子を残すため管理されている。

遺跡を侵食する樹木の迫力・自然の生命力に圧倒される。

三日目は、バンテアイ・スレイ遺跡見学。バンテアイ・スレイは、ヒンドウ教の寺院で「女の砦」を意味し赤色砂岩とラテライトで築かれた規模は小さいが、精巧で美しい彫刻が前面に刻まれている。デバタ(女性像)、レリーフ彫刻が素晴らしく保存状態も良い。

ベトナム航空でホーチミンに向かい市内宿泊 四日目は、ホーチミン市内を観光。ホーチミンは十九世紀半ばからフランスが三十年間に亘り統治し都市計画を進めた名残が随所に見られ、歴史的建造物もあり、美しい街並みを形成している。また、近代化も著しい。

市内の見所としては、
①統一会堂
②戦争証跡博物館
③中央郵便局
④聖母マリア教会等がある。

統一会堂



アンコールトム



統一会堂



聖母マリア教会



アンコールワット



タ・プローム



中央郵便局

は、一九六六年に建てられた南ベトナム政権時代の旧大統領官邸、一九七五年解放軍の戦車がこの敷地内に突入したことによりベトナム戦争は終結を迎えた。芝生の公園の中に静にたたずむその姿からは、悲惨を極めた混乱の時代は想像しがたい。

戦争証跡博物館は、緑に囲まれた敷地内に建つベトナム戦争に関する博物館で、戦車や戦闘機・ミサイル爆弾等の兵器を配置した屋外展と戦争に関する資料を公開した屋内展示場からなる。

枯葉剤の影響によって生まれた胎児

のホルマリン漬、道に横たわる無残な犠牲者の写真等を見ていると当時の混迷が生々しく浮かび上がってくる。

聖母マリア教会は、一九世紀末宗主国フランスにより建設されたカトリック教会で建物の外観はロマ

ネスク様式。クラシックな二つの尖塔が空へそびえ、壁の赤レンガは、そばに近寄って見るとひとつずつ非常に精巧に積み上げられており、その美しさは思わず息をのむ。内部はゴ

シック様式で華やかな装飾を配した静謐な祈りの空間となつている。五日目は、午前中市内観光後ベトナム航空で帰路へ。

気心の知れた愉快なメンバーと悠久の歴史と芸術文化を堪能した旅となりました。

「作業中における感電防止のお願いについて」

東京電力株式会社 神奈川支店 設備部

「電線付近で作業中、感電する事例が発生しています。」

【感電災害発生】

昨年、当社管内にて伐採作業中に、誤って高圧電線（六千六百ボルト）に触れ、作業者が感電負傷する事例が発生いたしました。

（被災状況）

被災者は移動式クレーン車（金属性のバケット付）を操作中誤って高圧電線に接触してしまった。電線の状態が気がかりとなり、接触部分を確認すべく電線に接近したところ、誤って高圧電線に感電し負傷した。
〔被災者の服装〕 安全帽 作業服 安全靴 安全帯 軍手
〔東京電力への建設工事用防護管取付要請なし〕

「電線路付近で作業する際は、事前に東京電力にご相談下さい」

【事前連絡のお願い】

- ・電線近くで作業される場合には、感電を避けるため次の事項などが労働安全衛生規則・行政指導通達で皆様にご義務付けられています。
- ・電力会社と作業計画の事前打ち合わせを行うこと
- ・関係作業員に対し、感電の危険性と作業標準を周知徹底させること
- ・電線に対して、安全な離隔距離を保つこと
- ・監視責任者を配置すること
- ・当該電線路に絶縁用防護管を装着すること
- ・労働基準局通達第七五九号
（昭和五〇年一月一七日）抜粋

【労働安全衛生規則】

第349条（工作物の建設等の作業を行なう場合の感電の防止）

事業者は、架空電線又は電気機械器具の充電電路に近接する場所で、工作物の建設、解体、点検、修理、塗装等の作業若しくはこれらに附帯する作業又はくい打機、くい抜機移動式クレーン等を使用する作業を行なう場合において当該作業に従事する労働者が作業中又は通行の際に、当該充電電路に身体等が接触し、又は接近することにより感電の危険が生ずるおそれのあるときは、次の各号のいずれかに該当する措置を講じなければならない

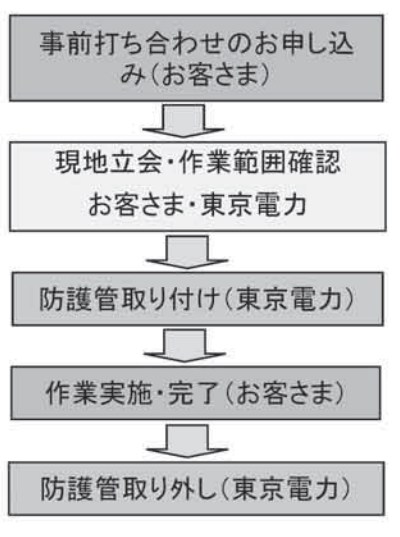
【安全離隔距離】

左表の離隔距離を作業時に確保していただきます。電圧区分毎に離隔距離は異なります。配電線付近での作業時は、2mの離隔距離をお願いします。なお、送電線付近における作業時は送電線設備管理箇所にご相談をお願いします。

東京電力がお願いしている安全な離隔距離		
	電圧	離隔距離
配電線	100V・200V	2m
	6, 600V	2m
送電線	22, 000V 33, 000V	3m
	66, 000V	4m
	154, 000V	5m
	275, 000V	7m
	500, 000V	11m

【建設工事用防護管の取り付け】

【防護管取り付けの流れ】



【防護管の取り付けについて】

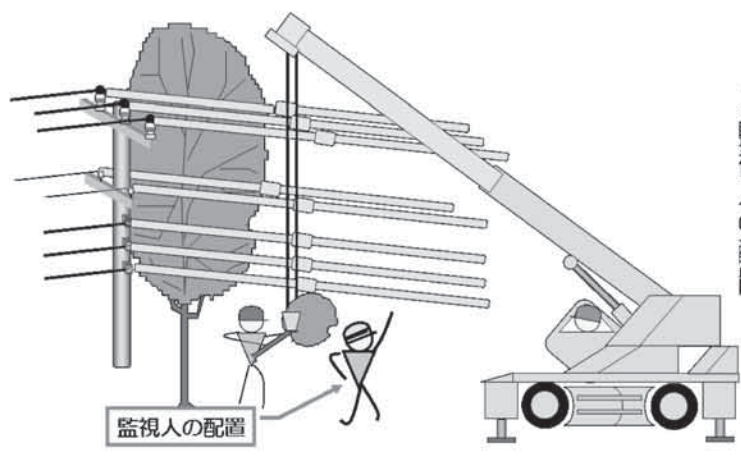
感電事故を防止するために、作業前、東京電力に連絡をいただき、現地の安全確認についてご相談をお願いいたします。

防護管の取り付けが必要な場合は、取り付け範囲について協議させていただきます。充電線路接近作業となるため、取り付け・取り外し作業工費は東京電力で負担いたします。お申し込みから取り付けまで時間がかかる場合がございますので、早めの連絡をお願いいたします。

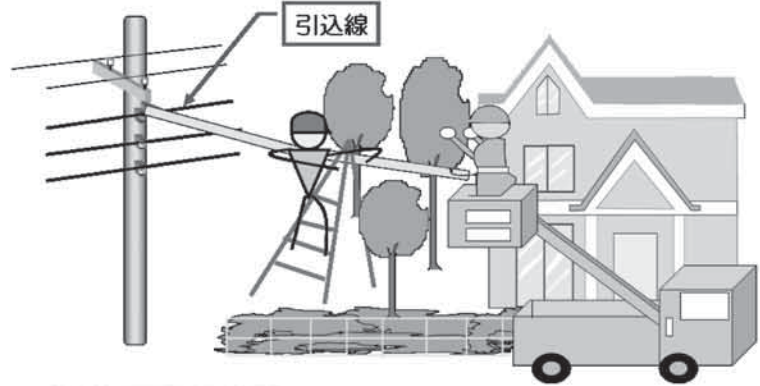
防護管は、お客様に御用意いただけます。（リース会社よりリース可能（有料））

「安全な作業をしていただくために」

○電線路接近時における建設工事用防護管の取付と監視人の配置



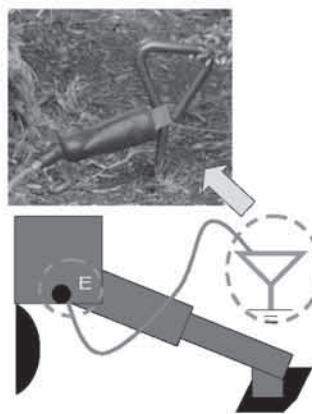
○庭木剪定時における引込線への取り付け



○重機への車体接地取り付け

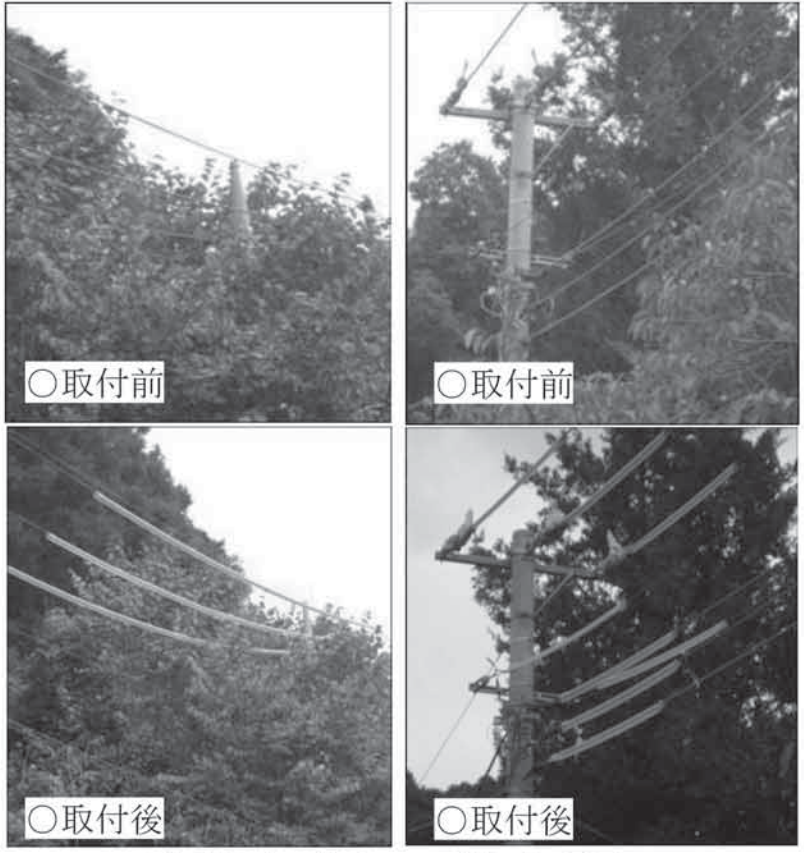
接地の取付けは、万が一の事故の際、電気を地面に逃がし、電気ショックをやわらげるはたらきがあります。

取付け方法については車両取扱説明書等にて確認をお願いいたします。

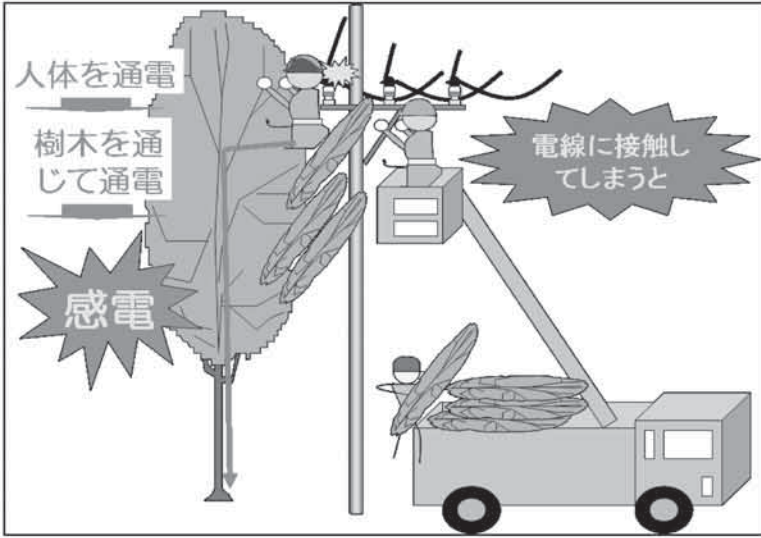


《注意》感電を防止する機能ではありません

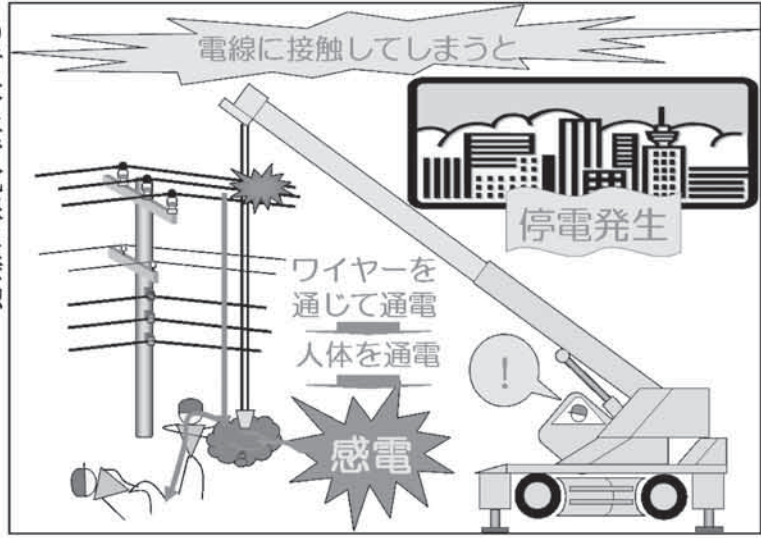
○建設工事用防護管 取り付け例



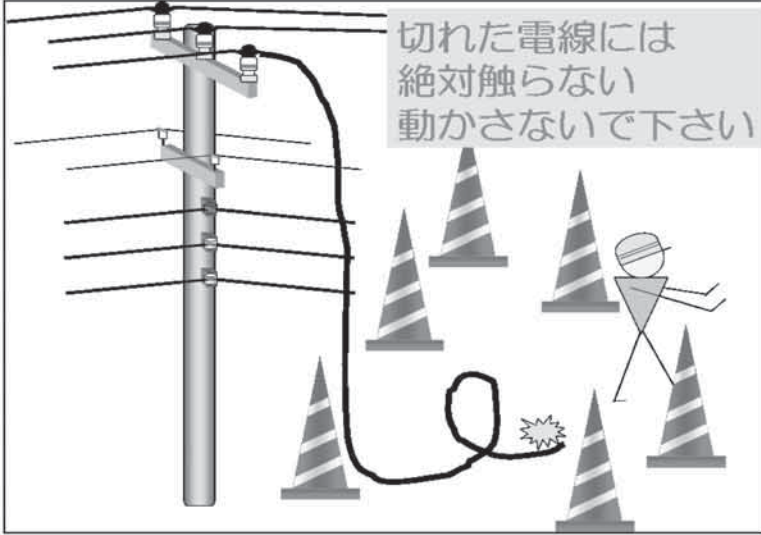
○防護管取り付けにより視認性が向上し感電防止が図られます



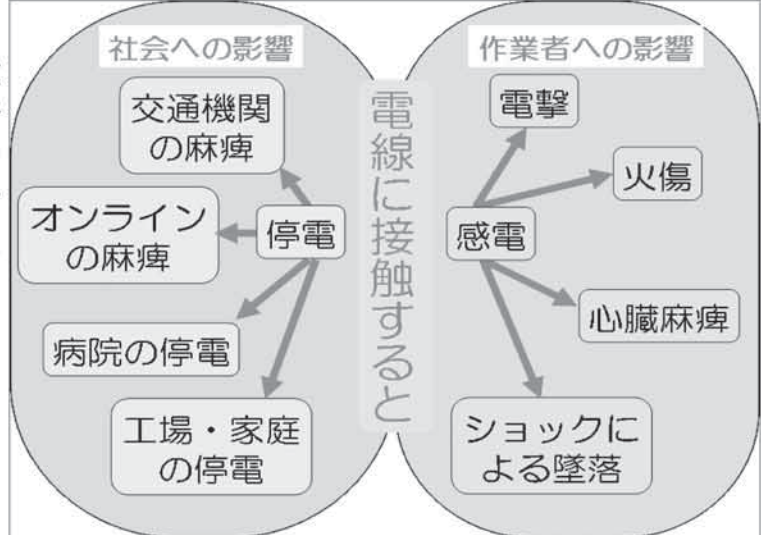
○樹木上で電線に接触



○ワイヤーが電線に接触すると

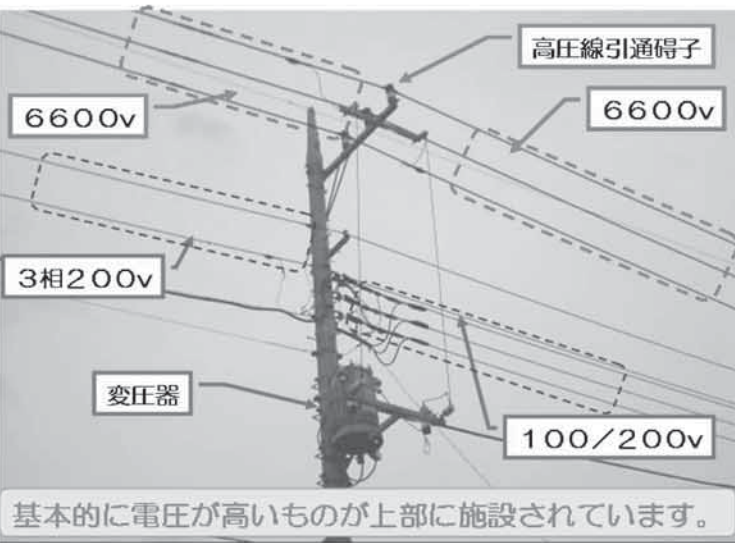
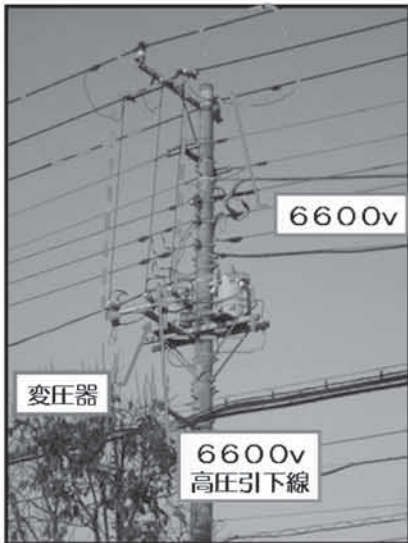


○電線が切れてしまったら



「事故発生時の影響」

万が一、電線に作業者、重機が接触した場合は「感電による災害発生および、電気設備の故障により付近一帯に停電が発生し、社会的に大きな影響を与える恐れがあります。また、万が一設備に接触断線した場合は触らず、東京電力（カスタマーセンター）へご連絡下さい。東京電力より作業員を派遣いたします。



○変圧器と電線の施設例

「東京電力の配電設備一例」

配電線路は周囲環境により電柱の形態が様々です。実際の現場における設備把握は困難であると思われ、作業前是非ご連絡をいただき事前打ち合わせをお願いいたします。

神奈川県内市区町村	移動式クレーン等使用に伴う東京電力株式会社への連絡先		
	配電線設備管理箇所	送電線設備管理箇所	連絡先
川崎市 (川崎区、幸区、中原区)	川崎支社 川崎制御所 配電保守グループ	川崎支社 送電保守グループ	神奈川県 カスタマーセンター 0120-99-5772
川崎市 (中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区)	川崎支社 高津制御所 配電保守グループ		
横浜市 (鶴見区、港北区、神奈川区)	鶴見支社 鶴見制御所 配電保守グループ	鶴見支社 送電保守グループ	
横浜市 (緑区、青葉区、都筑区)	鶴見支社 鶴見制御所 中山地域 配電保守グループ	横浜支社 送電保守グループ	
横浜市 (神奈川区、西区、港北区、保土ヶ谷区、旭区、瀬谷区)	横浜支社 横浜制御所 配電保守グループ		
横浜市 (中区、南区、磯子区、港南区、金沢区)	横浜支社 横浜中制御所 配電保守グループ	藤沢支社 送電保守グループ	
横浜市 (戸塚区、泉区、栄区、港南区) 鎌倉市、藤沢市	藤沢支社 大船制御所 配電保守グループ		
横須賀市、逗子市、三浦市、葉山町	藤沢支社 横須賀制御所 配電保守グループ	相模原支社 送電保守グループ	
相模原市	相模原支社 相模原制御所 相模原地域 配電保守グループ		
大和市、座間市、綾瀬市、海老名市	相模原支社 相模原制御所 大和地域 配電保守グループ	平塚支社 送電保守グループ	
平塚市、茅ヶ崎市、寒川町、大磯町、二宮町	平塚支社 平塚制御所 平塚地域 配電保守グループ		
厚木市、海老名市、座間市、伊勢原市、愛川町、清川村	平塚支社 平塚制御所 厚木地域 配電保守グループ	小田原支社 送電保守グループ	
小田原市、箱根町、湯河原町、真鶴町	小田原支社 松田制御所 小田原地域 配電保守グループ		
秦野市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町	小田原支社 松田制御所 秦野地域 配電保守グループ		

一本の電話が災害・事故を未然に防止致します。是非ご連絡をお願い致します。

「東京電力の連絡先」

電線付近で作業する際は、事前に東京電力 神奈川県 神奈川県 神奈川県 カスタマーセンターに連絡をして下さい。
なお、緊急を要する場合についてもご連絡をお願いいたします。
連絡先は左表連絡先をご参照下さい。
現地での打ち合わせにより、作業範囲を確認させていただき、電線の接近・接触を防止する目印として、建設工事用防護管などを取り付ける手続き等をご相談させていただきます。
(事前打ち合わせによる当社派遣は無料となっております)
(注意) 送電線への防護管取付けはできませんが関係部署より現地確認させていただきます。

